



平成27年10月23日

各位

上場会社名 日本化成株式会社
 代表者 取締役社長 中村 英輔
 (コード番号 4007)
 問合せ先責任者 経理部長 関 信哉
 (TEL 03-5540-5861)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月13日に発表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,700	650	830	470	4.47
今回修正予想(B)	14,600	120	200	120	1.14
増減額(B-A)	△3,100	△530	△630	△350	
増減率(%)	△17.5	△81.5	△75.9	△74.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	17,237	614	903	583	5.55

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	38,500	1,750	2,100	1,250	11.90
今回修正予想(B)	34,500	950	1,250	700	6.66
増減額(B-A)	△4,000	△800	△850	△550	
増減率(%)	△10.4	△45.7	△40.5	△44.0	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	37,294	1,774	2,651	1,281	12.19

修正の理由

当第2四半期連結累計期間の業績については、合成石英粉、ウエハー用途向け電子工業用高純度薬品等が堅調に推移したものの、アンモニア系製品、ホルマリン・木材加工用接着剤、機能化学品事業が販売数量の減少等により厳しい状況が継続し、当期に入り競争環境が激化したエンジニアリング事業についても未だその立ち上がりが鈍いこと等から、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益について、平成27年5月13日に発表した業績予想数値を下回る見通しと致しました。

また、平成28年3月期の通期連結業績については、第3四半期以降、これまで全社挙げて取り組んできたコスト削減・拡販努力等による収益底上げ効果が逐次顕在化するとともに、一部関連需要についても徐々に底打ち傾向を示すものと見込んでおりますが、当第2四半期連結累計期間に計上したマイナス幅を補うまでには至らず、加えて、中国経済や新興国経済を取り巻く不確実性の高まりや、米国の利上げ観測等による金融市場の不安定化等、世界経済の先行き不透明感が一段と強まることも懸念されること等から、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について、平成27年5月13日に発表した業績予想数値を下回る見通しと致しました。

当社グループは、新中期経営計画「NKC-Plan2015」のメインテーマである「安定的な収益基盤の実現」に向け、各種合理化、効率化、コスト削減、生産効率アップ、販売数量の確保、技術開発の迅速化等に全力を注いでまいりましたが、今後とも当社グループ挙げて事業全般に亘る収益改善施策をよりスピーディーかつ徹底的に推進し、確実な成果に繋げるべく全力を尽くして参ります。

なお、今後の状況変化に伴い、通期の業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示することといたします。

※上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上